

# 佐野 麻由子 (さの まゆこ)教授

学部/学科	人間社会学部 公共社会学科
大学院/専攻	人間社会学研究科 子ども教育専攻

研究分野	社会学、開発援助と社会学、ネパール地域研究	
メッセージ	「意志あるところに道がある」です。「駄目、無理」と決め込まずに何事にもトライしてみてください！	
研究テーマ、キーワード	主な研究分野は、社会学の中でもジェンダー、社会運動（変動）。「社会的課題を解決するための意図的な社会変革はどのような条件下で可能か」という関心のもと、（1）ネパールをフィールドに社会的達成における男女の非対称性を生み出す社会構造、その維持/変革につながる要因の社会学的分析、（2）左研究の知見の開発援助政策への応用および還元に取り組んでいます。	
代表的著書、論文等	<p>&lt;著書（共編著）&gt; 田村慶子・佐野麻由子,2022,『変容するアジアの家族-シンガポール、台湾、ネパール、スリランカの現場から-』明石書店。</p> <p>&lt;著書（分担執筆）&gt; 佐野麻由子, 2020, 「統合が進まない政府与党, 国境をめぐるインドとの軋轢」『2020年アジア動向年報』、IDE-JETRO アジア経済研究所、498-520。 佐野麻由子, 2019, 「議席の3分の2に迫る第2次オリ政権の発足」『2019年アジア動向年報』、IDE-JETRO アジア経済研究所、518-540。 佐野麻由子, 2018, 「ネパール：左派連合の代表議会選挙勝利により政権安定化が図れるか」『2018年アジア動向年報』、IDE-JETRO アジア経済研究所、515-538。 佐野麻由子, 2018, 「「それでも息子が欲しい」？—ネパールにみる過渡期的発展と男児選好の未来」山田真茂留 編著『グローバル現代社会論』、文眞堂、137-153。</p>	
	<p>過去の主要業績</p> <p>&lt;著書（分担執筆）&gt; 佐藤寛・浜本篤史・佐野麻由子・滝村卓司, 2015, 『開発社会学を学ぶための60冊：援助と発展を根本から考えよう』明石書店。 佐野麻由子, 2015, 「途上社会の貧困, 開発, 公正」宮島喬・佐藤成基・小ヶ谷千穂編, 『国際社会学』有斐閣, 148-165。 佐野麻由子, 2012, 「開発・発展におけるジェンダーと公正—潜在能力アプローチから」 宮島喬・杉原名穂子・本田量久編『公正な社会とは—教育、ジェンダー、エスニシティの視点から』人文書院, 240-258。</p>	
所属学会,その他の研究活動等	日本社会学会、関東社会学会、国際開発学会、国際ジェンダー学会	
担当授業	社会学概論【2単位 1年後期】 国際社会学 A【2単位 2年前期】 公共社会学研究 I【2単位 3年前期】 公共社会学研究 II【2単位 3年後期】	国際協力論【2単位 1年後期】 国際社会学 B【2単位 2年後期】 NPO論【2単位 3年前期】 卒業論文【6単位 4年通年】
経歴等	2006年3月立教大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了。博士（社会学）の学位を取得。お茶の水女子大学非常勤講師、フェリス学院大学非常勤講師、立教大学社会学部助教等を経て2012年10月に本学着任。	